

200/300シリーズマネージドスイッチのIPv6ネイバー情報の定義

目的

IPv6ネイバーは、IPv6インターフェイスにリンクされているノードです。IPv6ネイバーテーブルには、静的に設定され、動的に検出されるすべてのIPv6ネイバーが含まれます。IPv6ネイバー探索キャッシュとも呼ばれるネイバーテーブルは、スイッチがネイバーノードと通信するために使用されます。スイッチはこのテーブルを使用して、既知のIPv6アドレスに基づいて目的のMACアドレスを検出します。

この記事では、200/300シリーズマネージドスイッチのIPv6ネイバーテーブルを設定および表示する方法について説明します。

適用可能なデバイス

- ・ SF/SG 200およびSF/SG 300シリーズマネージドスイッチ

[Software Version]

- 1.3.0.62

IPv6ネイバー

ステップ 1：スイッチがレイヤ2モードの場合はWeb設定ユーティリティにログインし、Administration > Management Interface > IPv6 Neighborsの順に選択し、スイッチがレイヤ3モードの場合はIP Configuration > Management and IP Interface > IPv6 Neighborsの順に選択します。IPv6ネイバーページが開きます。

IPv6 Neighbors

Clear Table: ☒ Static Only
☐ Dynamic Only
☐ All Dynamic & Static

Apply Cancel

IPv6 Neighbor Table					
☐	Interface	IPv6 Address	MAC Address	Type	State
0 results found.					
Add...		Edit...		Delete	

ステップ2: (オプション) Clear Tableフィールドで目的のオプションに対応するオプションボタンをクリックし、Applyをクリックします。これにより、IPv6ネイバーテーブルから目的のIPv6アドレスがクリアされます。

- ・ Static Only : スタティックIPv6エントリのみをクリアします。
- ・ Dynamic Only : ダイナミックIPv6エントリのみをクリアします。
- ・ すべてのダイナミックおよびスタティック : スタティックおよびダイナミックIPv6エントリの両方をクリアします。

ステップ 3 : Addをクリックして、監視対象のネイバーを追加します。Add IPv6 Neighborsウィンドウが表示されます。

Interface: GE1

 IPv6 Address: FE80::DB81

 MAC Address: 1000000C15C0

Apply

Close

注：Interfaceフィールドには、追加するネイバーIPv6インターフェイスが表示されます。

ステップ 4：インターフェイスに設定するIPv6アドレスを入力します。

ステップ 5：指定したIPv6アドレスに対応するMACアドレスを入力します。

手順 6：[APPLY] をクリックします。IPv6ネイバーは静的に設定されています。

IPv6 Neighbors

Clear Table:

☒ Static Only
☐ Dynamic Only
☐ All Dynamic & Static

Apply

Cancel

IPv6 Neighbor Table

☐	Interface	IPv6 Address	MAC Address	Type	State
☐	GE1	fe80::db81	10:00:00:0c:15:c0	Static	Reachable

Add...

Edit...

Delete

IPv6ネイバーテーブル領域には、次のフィールドが表示されます。

- ・ インターフェイス：IPv6ネイバーのインターフェイス。
- ・ IPv6アドレス：ネイバーのIPv6アドレス。
- ・ MACアドレス：IPv6アドレスに対応するMACアドレス。
- ・ Type：ネイバーのエントリタイプ。
 - Static：ネイバーは静的に設定されています。
 - Dynamic：ネイバーが動的に検出されました。
- ・ State:IPv6ネイバーのステータス。
 - Incomplete：アドレス解決は機能していますが、ネイバーはまだ応答していません。
 - Reachable：ネイバーが到達可能であることが確認されています。
 - Stale：ネイバーが到達不能であることが確認されており、トラフィックを送信するまで、ネイバーの到達可能性を確認するアクションは実行されません。
 - 遅延：既知のネイバーが到達不能であることが確認されています。インターフェイスは、所定の遅延時間が経過するまで遅延状態のままになり、その後、状態はProbeに変わります。
 - プロブ：ネイバーに到達可能であることが不明です。これにより、到達可能性を確認するためにユニキャストネイバー送信要求プロブが送信されます。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。